令和元年度
社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会
事 業 報 告 書

平成 31 年 4 月 1 日～令和２年３月３１日

ふれあいネットワーク
社会福祉法人 永平寺町社会福祉協議会

01　法　人　運　営　事　業

（所轄；法人運営課）

＜総括＞

令和元年度は、６月に役員改選が行われ新体制でのスタートをかわきりに、やすらぎの郷事務所棟の譲受に向けた施設の切り離し工事や譲渡前修繕作業が本格的化し、慌しい中にも新鮮な気持ちで業務にあたることができた。

しかし、その空気を打ち破るように、中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染が徐々に拡大、３月１１日にはＷＨＯが「パンデミック」を宣言するに至り、にわかに法人運営にも影響が懸念される事態となった。年度を越えた５月末には世界で５０４万人が感染し、３２万人が死亡するなど、なお感染は収束する気配はなく、今後においても非常に心配される事態となっている。法人としても急遽、感染予防、拡大防止のマニュアルを策定し、感染者が出たときの対応方針や休業補償などの基準を明確化し周知を行っている。

また、町当局が設置する新型コロナウイルス感染症対策本部の会議にも参加し、様々な情報を共有するとともに、今後の対応対策について本会の立場からも意見を申し上げた。

感染拡大が深刻化する前においては、専門家による内部研修やメンタルヘルス対策としてストレスチェックを実施するなど、気持ちよく仕事ができる環境づくりに努め、大学、高校からの実習受け入れも積極的に行った。施設設備の維持と安定的な管理体制構築のため、今年度創設した基金も計画どおり積み立てが行われ、比較的順調な運営状況であったと考える。

01　法人運営事業

１）評議員会の開催

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者
1	6 月 24 日（月）	永平寺町やすらぎの郷	評議員 14 名中 11 名、監事 1 名、正副会長
2	11 月 22 日（金）	〃	評議員 14 名中 11 名、正副会長
3	令和 2 年 2 月 13 日（木）	〃	評議員 14 名中 10 名、会長
4	3 月 27 日（金）	〃	評議員 14 名中 12 名、正副会長

２）理事会の開催

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者
1	6 月 6 日（木）	永平寺町やすらぎの郷	理事 13 名中 11 名、監事 1 名
2	6 月 25 日（火）	〃	理事 13 名中 10 名、監事 2 名
3	11 月 14 日（木）	永平寺開発センター	理事 13 名中 9 名、監事 2 名
4	令和 2 年 2 月 5 日（水）	永平寺町やすらぎの郷	理事 13 名中 10 名 欠員 1 名、監事 2 名
5	3 月 18 日（水）	〃	理事 13 名中 11 名、監事 2 名

新任期スタート；令和元年 6 月 24 日～令和 2 年度決算にかかる定時評議員終結の時まで

・理事の交替 ＜1 名交替＞ 令和 2 年 2 月 13 日付

変更事由；選出母体の組織再編による

※選出区分が「民生委員児童委員」であるため理事・監事候補者選考委員会は未開催。

旧　砂村　洋子 氏

新　坪川　金次 氏

・理事の退任＜1 名退任＞令和 2 年 3 月 31 日付

理事：齋藤　信英 氏

3）評議員選任・解任委員会の開催

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者
1	6 月 7 日（金）	永平寺町やすらぎの郷	評議員選任・解任委員 3 名
2	令和 2 年 2 月 5 日（水）	〃	評議員選任・解任委員 3 名

・評議員の交替 ＜3 名交替＞ 令和元年 6 月 7 日付

変更事由；選出母体の組織再編による

旧　和田　高枝 氏　　鈴木　幸江 氏　　大谷　純子 氏

新　鶴田　友康 氏　　谷　久仁子 氏　　中川まゆみ 氏

・評議員の交替 ＜3 名交替＞ 令和 2 年 2 月 5 日付

変更事由；選出母体の組織再編による

旧　宮川 美津江 氏　下山 正幸 氏　　道廣 榮二 氏

新　大澤 輝巳 氏　　中山 勇次 氏　　黒田 耕平 氏

4）理事・監事候補者選考委員会

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者
1	6 月 4 日（火）	永平寺町やすらぎの郷	理事・監事候補者選考委員会委員 4 名、事務局職員 1 名

5）監査の実施

【平成 30 年度決算監査】

回	開　催　日	会　　場	出　席　者
1	5 月 23 日（木）	永平寺町やすらぎの郷	監事 2 名、正副会長

【令和元年度中間監査】

回	開　催　日	会　　場	出　席　者
1	11 月 6 日（水）	永平寺町やすらぎの郷	監事 2 名、正副会長

６）経営基盤の強化

①職群別会議

各層に分かれた会議体にて、局内における情報共有や課題整理、課題解決に向けた協議検討をおこなう。

〇課長会議 → 局内の重要事項に関することや今後の強化戦略等について

〇係長会議 → 局内の課題整理や情報共有、課長会議への進言など。

〇主任会議 → 各取り組みについての勉強会。環境美化活動など。

②専門家による局内研修の実施

【局内研修の開催】

外部講師を招き、専門的知識を学ぶことを目的とし、社協職員としての更なる資質向上を目指した。

回	開　催　日	研　修　名	講　師	会　場　等	出　席　者
1	6 月 10 日(月)	リスクマネジメント研修	アンシーズ（株） 内田　佳次 氏	永平寺老人福祉センター	事務局職員 65 名
2	11 月 1 日(金)	パワーハラスメント 対策研修	社会保険労務士 勝見　秀樹　氏	〃	事務局職員 43 名
3	12 月 17 日(火)	アンガーマネジメント 研修	産業医 真﨑　竜邦氏	〃	事務局職員 66 名

リスクメネジメン研修

パワーハラスメント研修

アンガーマネジメント研修

③職員相互による内部研修の実施

日々の業務を遂行する上で必要不可欠となったパソコンについて、業務効率の向上を目的に、基礎的な操作方法についての研修会を実施。

回	開　催　日	研　修　名	講　師	会　場　等	出　席　者
1	9 月 30 日(月)	パソコン基礎研修	法人運営課職員	永平寺老人福祉センター	事務局職員 10 名
2	11 月 28 日(木)	〃	〃	〃	事務局職員 6 名

【永平寺町社協の概要に関するオリエンテーションの実施】

新入局職員を対象にオリエンテーション実施。　令和 2 年度：計 7 名入局

回	開　催　日	内　容	出　席　者
1	令和 2 年 2 月 28 日（金）	全体オリエンテーション	新入局職員 4 名
2	3 月 25 日（水）	〃	新入局職員 3 名

④職員確保に向けた取り組み

・局内職員状況の整理分析を行い、今後の採用計画の方針について協議検討を行った。

・福井県福祉人材センターが主催する「ふくい福祉就職フェア」へ出席（6/9）。永平寺町社協の PR や昨今の求職者の動向等を探った。

当会ブース→

【福祉・医療業界研究セミナー】

・福井県立大学キャリアセンター主催で、福祉・医療業界の仕事を希望する学生を対象に、企業ごとにブースを設け、個別説明を行うセミナーに参加。今後も積極的にセミナーに参加しキャリアセンターとの良好な関係を構築する。

回	開　催　日	会　場	当ブース参加者
1	令和 2 年 2 月 19 日（水）	福井県立大学	学生 9 名

⑤その他

・税理士による定期的な会計指導・内部監査の実施継続。

・社協内ネットワーク通信を有効活用し、各種研修案内や情報共有などの周知徹底に努めた。

【職員表彰及び褒賞金】

勤続年数が 25 年を超える職員が退職する場合や、職員が事業遂行に於いて有用な資格を取得した場合、その功績を称えることを目的に、資格取得助成制度に変え、新たに報奨金制度を制定。実施要綱に基づき、該当資格取得者に対し交付を行う。

・介護支援専門員　・・・1 名交付
・社会福祉士　・・・1 名交付
・介護福祉士　・・・3 名交付
・精神保健福祉士　・・・1 名交付

7）メンタルヘルス対策事業

・平成 28 年 7 月より労働安全衛生法に則り、常時 50 名を超える事業所である永平寺事務所において産業医との契約、衛生委員会の設置を行っている。

また、任意設置となる事務所(上志比事務所、松岡事務所)においても衛生推進会議を設置し、労働衛生に関する事項について協議検討を行った。

【衛生推進会議】※上志比地区、松岡地区(ほっこり含む)

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者
1	7月4日（木）	やすらぎの郷	事務局職員7名
2	8月7日（水）	〃	事務局職員6名

【衛生委員会】 毎月第2火曜日 14:00～15:00の1時間（永平寺事務所）

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者	内　容
1	4月9日（火）	永平寺老人福祉センター	産業医1名、事務局職員5名	衛生管理計画策定について
2	5月14日（火）	〃	産業医1名、事務局職員5名	
3	6月11日（火）	〃	産業医1名、事務局職員5名	ストレスチェックについて
4	7月9日（火）	〃	産業医1名、事務局職員4名	
(5)	8月9日（金）	やすらぎの郷	－	－
(6)	9月10日（火）	永平寺老人福祉センター	－	－
7	10月8日（火）	〃	産業医1名、事務局職員5名	避難訓練について
8	11月12日（火）	〃	産業医1名、事務局職員5名	インフルエンザ感染防止対策について
9	12月17日（火）	〃	産業医1名、事務局職員5名	職員研修について
(10)	令和2年 1月14日（火）	やすらぎの郷	－	－
11	2月4日（火）	永平寺老人福祉センター	産業医1名、事務局職員5名	新型コロナウイルスについて
12	2月4日（火）	〃	産業医1名、事務局職員5名	
13	3月13日（火）	〃	産業医1名、事務局職員5名	

(5)、(6)(10)は産業医面談実施

・心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）の実施

ストレスチェック検査　　期間 令和元年7月16日～18日

永平寺事務所　　・・・対象59名中59名受検

上志比、松岡事務所・・・対象81名中75名受検

8）社協会費及び賛助会費の加入促進

多様化する福祉ニーズに迅速に対応していくためには、自主財源の確保は重要である。貴重な自主財源である会費納入依頼や会費使途について、区長会、広報誌等を通し説明を行った。

また、町内の企業様については、昨年度に続きふれ愛フェスタの協賛と合わせて賛助会費納入依頼を実施。特別会費については直近2年の比較で増加傾向となっている。

【各会費の推移表】　※過去 2 年含め、いずれも 3 月 31 日現在の額

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
普通会費	2, 502, 000 円	2, 527, 000 円	2, 548, 000 円
特別会費	5, 000 円	35, 000 円	75, 000 円
賛助会費	523, 000 円	495, 000 円	520, 000 円

９）社会福祉大会の開催（福祉まつりと併催）

令和元年 6 月 2 日（日）　10 時 00 分～10 時 40 分　上志比文化会館サンサンホール

・永平寺町社会福祉協議会長表彰　18 名 2 団体

・永平寺町社会福祉協議会感謝状授与　3 名

また、公平かつ透明性のある選考方法をとれるよう、規程整備をおこない、今年度より新たに外部委員を交えた表彰選考委員会を設置。表彰基準に基づく選考をおこなった。

【表彰選考委員会】

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者
1	5 月 23 日（木）	永平寺老人福祉センター	表彰選考委員 4 名、事務局職員 4 名

１０）障がい者の雇用促進

・「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき 2 名を継続雇用中

・ジョブコーチ支援（福井障害者職業センター）の活用により職場定着支援を図った

5 月 16 日～6 月 30 日 集中支援期

7 月 1 日～8 月 15 日 移行支援期

8 月 16 日～　　フォローアップ期 ＜令和 2 年度も継続中＞

令和 2 年 3 月 4 日 → 次年度契約内容に向けた打ち合わせ。

１１）仕事と生活の調和

・職員の家庭生活状況にマッチした多様な制度利用を周知・勧奨しワークライフバランスの調和を図った。

育児休業取得 1 名（女性 1 名）

介護休暇取得 5 名（女性 5 名）

子の看護休暇取得 8 名（男性 5 名・女性 3 名）

１２）災害時における各種関係機関との協力体制の確立

【新型コロナウイルス感染症災害対策連絡室及び災害対策本部への参加】

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者	備　考
1	R2．1月３１日（金）	役場本庁	事務局１名	町災害対策連絡室会議①
2	２月２７日（木）		事務局１名	〃　②
3	３月１２日（木）		事務局１名	〃　③
4	３月１９日（木）		事務局１名	町感染症対策本部会議①
5	３月２３日（月）		事務局１名	〃　②
6	３月３０日（月）	〃	事務局１名	〃　③

【災害対策本部設置訓練】

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者	備　考
1	7月 3日（水）	役場本庁	事務局１名	設置訓練

【防災連絡会議】

回	開　催　日	会　場　等	出　席　者	備　考
1	7月 31 日（水）	役場本庁	事務局２名	火事対策に関すること

02　永平寺事務所運営事業

03　企画調整事業

１）関係団体への援助協力

・九頭竜フェスティバル 2019 永平寺大燈籠流し（8/24）への協力

→ 会場案内や車いす貸出応対、中学生ボランティアの対応。
実行委員も含め 22 名参加

２）地域活動協力

・町民清掃の日（4/21）清掃協力

→ 松岡、永平寺、上志比それぞれの地区での活動に計 33 名参加

・RUN 伴 2019（9/21）

→ 認知症啓発イベント。当会職員 9 名参加

３）区長会への出席。会費や共同募金のお願い、福祉委員選出についてのお願い等、社協事業の説明を行う。

【区長会】

回	開　催　日	会　　場	出　席　者	備 考
1	6 月 14 日（金）	役場本庁	事務局 2 名	松岡地区
2	6 月 17 日（月）	上志比文化会館サンサンホール	事務局 1 名	上志比地区
3	6 月 18 日（火）	永平寺開発センター	事務局 1 名	永平寺地区
4	令和 2 年 1 月 27 日（月）	上志比文化会館サンサンホール	事務局 1 名	上志比地区
5	1 月 28 日（火）	役場本庁	事務局 1 名	松岡地区
6	1 月 30 日（木）	永平寺町消防ホール	事務局 1 名	永平寺地区

４）課・事業所を横断した共同推進

・ふれ愛フェスタ 2019 推進室の設置

→ ふれ愛フェスタ 2019 に向けた連絡調整や情報共有の円滑化を役割とした。局内それぞれの課・事業所より選抜した職員 6 名で構成

５）苦情解決体制の整備

【第三者委員会】

回	開　催　日	会　　場	出　席　者
1	7 月 12 日（金）	永平寺町やすらぎの郷	第三者委員 3 名、正副会長、事務局 7 名
2	令和 2 年 2 月 20 日（木）	〃	第三者委員 3 名、会長、常務、事務局 4 名

・第三者委員の交替

（令和元年 6 月 25 日付）変更事由；第三者委員の辞任による

旧　浅野　秀信　氏

新　山田　和郎　氏

（令和 2 年 3 月 31 日付）変更事由：任期満了による退任

旧　齊川　静子　氏

新　下山　正幸　氏

【苦情受付解決状況】（苦情受付件数 3 件；前年度比±0 件）

No.	苦情の種類・内容	発生日	解決状況
1	○ 情報伝達に関すること 内　容→事業所間での伝達不備により、利用者様の想いと異なる対応を行ってしまった。	5 月 20 日	解決済み

2	○ 書類の不備に関すること 内　容→賛助会員名一覧から納入企業が漏れていた。	5 月 24 日	解決済み
3	○ 信頼関係の行き違いに関すること 内　容→対人援助のなかでの意見の相違。	12 月 14 日	解決済み

６）リスクマネジメント体制の整備

全体リスクマネジメント会議に加え、部門ごとのリスクマネジメント会議を開催。部門ごとに分けて協議することにより機能的かつ事業所間の連携強化を狙いとした。

【リスクマネジメント会議・全体】

回	開　催　日	会　　場	出　席　者
1	5 月 10 日　（金）	永平寺老人福祉センター	常務理事、事務局職員 10 名

【リスクマネジメント会議・法人部門】

回	開　催　日	会　　場	出　席　者
1	7 月 31 日（水）	永平寺町やすらぎの郷	常務理事、事務局職員 6 名

【車両事故後対応研修】

回	開　催　日	会　　場	出　席　者
1	9 月 12 日（木）	上志比デイサービスセンター	事務局職員 14 名

事故件数 14 件（前年度比；－3 件）

内　　容	件　　数	（参考）前年度
車両{前進時 1・後退時 2}	3 件	8 件
介護現場{送迎車内 2・施設内転倒 7}	9 件	6 件
介護現場以外での転倒事故	1 件	1 件
過誤請求	1 件	2 件
合　　計	14 件	17 件

コンピュータネットワークの運用

・ひかりインターネット回線運用。セキュリティおよび接続方法の見直し

・ペーパーレスによる、稟議の迅速化と費用節減（コピーカウンター料金 約 16%減）

・ほのぼの NEXT 等 定期アップデート作業

04　企画広報事業

１）広報紙の発行（「ほほえみ」12 回発行；全戸配布）

・今年度より「赤い羽根共同募金」の一部助成を受けて発行。

毎月発行というメリットを活かし、福祉情報、社協事業情報をわかりやすく、かつタイムリーにお届けするため、他部門の職員と連携し、幅広い情報の提供に努めた。

効果測定として、広報誌紙面に「QR コード」を使ったアンケート調査を実施するも、回収率が悪く、調査方法の再考が必要。

ほほえみ６月号

ほほえみ10月号

ほほえみ12月号

２）ホームページの作成・更新、フェイスブックの更新［随時更新］

・誰が閲覧してもわかりやすく、目的の項目へたどり着きやすいホームページとするため、以下の通りリニューアルに向けた協議を行った。

【ホームページリニューアル会議】

回	開　催　日	会　　場	出　席　者
1	8 月 20 日（火）	永平寺老人福祉センター	事務局職員 4 名
2	8 月 27 日（火）	〃	〃
3	9 月 3 日（火）	〃	業者 1 名、事務局職員 2 名

05　研修教育事業

１）社会福祉援助技術実習生等の受け入れ

福井県立大学2回生8名

回	開　催　日	会　場　等
1	9 月 26 日（木）	永平寺町やすらぎの郷、他各事業所見学

２）視察研修受け入れ

淡路市役所より視察研修受入実施。

回	開　催　日	会　場　等
1	5 月 14 日（火）	永平寺町やすらぎの郷、他各事業所見学

【視察テーマ】

・永平寺町における民児協の主な活動内容について

・社協と民生委員・児童委員との日常的な関わり方について

【研修出席者】

〇淡路市市役所職員　・・・1名
〇東浦民生委員児童委員協議会会長他　・・・14名
〇永平寺町役場福祉保健課参事　・・・1名
〇永平寺町民生委員児童委員協議会会長　・・・1名
〇永平寺町社会福祉協議会会長他

3）高校生インターンシップ（職業体験）の受け入れ

期　　間：6月18日（火）～20日（木）福井商業高校2年生 2名
就業場所：永平寺デイサービスセンター

06 基金運営事業

01 福祉基金事業

02 地域福祉事業安定化基金事業

03 介護保険事業安定化基金事業

04 施設管理運営安定化基金事業

自己財産の施設が増加する中、その維持管理に必要な財源を確保することを目的として、今年度当初より新設。令和 2 年 3 月 31 日現在、5,117,001 円基金組み入れ。

02　地 域 福 祉 活 動 推 進 事 業

（所轄；地域福祉推進課）

＜総括＞

地域福祉部門は、住民が安心して生活できる地域づくりの推進を展開してきました。その中で、会議を重ねて「みんなと笑顔で楽しく活きるまち」の地域福祉活動計画が完成しました。次年度には、福祉委員、民生委員児童委員、小地域福祉委員会等関係者に説明を行い、支え合いの地域社会の実現を目指します。次に、「ありがとう　お互いさまのまちづくり」のスローガンのもと、区長、民生委員児童員、福祉委員が連携し、見守り活動を強化するために合同意見交換会を行い、令和２年２月には、新福祉委員の委嘱式並びに研修会（映画）を通して、地域住民の一人ひとりが支え合える「地域共生社会」の大切さを学びました。次年度は、福祉委員の研修会を行いながら、町民同士が支え合えるまちの活動を進めていきます。新規事業の子ども福祉委員活動では、自分たちに出来る福祉について考えるきっかけづくりを行いました。

ボランテイアセンターでは、講座や小中学校の福祉教育や福祉活動に力を入れ、ボランティアの育成を図りました。その中で、光道園の協力のもと、盲導犬や視覚障がい等の活きた学習ができました。

障害者計画相談事業では、利用者が年々増加し、より専門性を必要とするため、強度行動障害支援者養成研修、医療的ケア児等コーデイネーター養成研修等にも受講し、質の高いサービス提供を行ってきました。

令和２年２月頃に発症した新型コロナウイルスの感染拡大で、いくつかの事業を中止し、町民の方からは、休業や失業で収入が減少し、生活が困窮している相談が増え、食糧支援や貸付等をおこなっています。次年度には、中止となった事業が実施できるように計画していきます。

07 地域福祉活動事業

（1）地域福祉活動計画の策定

第二次地域福祉活動計画の策定に向けて、住民や関係団体との会合等で助け合い活動についての意見を収集し、住民の活動計画につなげていくよう努めた。

（計画期間令和 2 年度から令和 7 年度の 6 年間）

地域福祉活動計画策定委員会の開催

回	開催日	会場等	出席者
1	9 月 25 日（水）	永平寺老人福祉センター	10 名/13 名
2	12 月 18 日（火）	永平寺老人福祉センター	10 名/13 名
3	3 月 2 日（月）	やすらぎの郷	7 名/13 名

ワーキンググループの開催（計画策定に向け、町内在住の若手職員との検討会）

回	開催日	会場等	出席者
1	8月13日(火)	永平寺老人福祉センター	8名
2	9月11日(水)	〃	8名
3	11月14日（木）	〃	7名

◎永平寺町の第3次地域福祉計画（計画期間令和2年度から令和7年度の6年間）に策定委員として事務局長が出席（全3回）

8月21日（水）、12月11日（水）、令和2年2月10日（月）

◎子ども子育て支援計画策定委員会　　事務局長が出席（全3回）

11月12日（火）、12月19日（木）、令和2年2月18日（火）

(2) 福祉委員会の運営

・区長、民生委員、福祉委員合同意見交換会

自治会内での見守り活動の強化を図るために、意見交換会を実施

地　区	開催日	出席者	出席者
永平寺	5月13日（月）	永平寺開発センター	区長17名/26名 民生委員児童委員11名/17名 福祉委員20名/35名
松　岡	5月14日（火）	松岡公民館	区長26名/46名 民生委員児童委員23名/27名 福祉委員27名/64名
上志比	5月20日（月）	やすらぎの郷	区長12名/17名 民生委員児童委員10名/11名 福祉委員16名/33

・福祉委員活動報告書(月報)の活用

月報提出状況(4月～令和2年3月)

計169件(松岡地区:105件、永平寺地区:24件、上志比地区:40件)

「心配な人」や地域の生活課題など気がかりな方が見受けられた際には個別に電話調査等を実施。必要に応じて直接出向き、情報提供や状況把握を目的にアウトリーチを行い、課題解決に向けて取り組んだ。

・福祉委員委嘱式

開催日:令和2年2月9日(日)　会場:福井県立大学講堂　出席者83名/121名

任　期:令和2年2月1日～令和4年1月31日

・「地域で共に暮らすことを考える」研修会

映画「星に語りて～Starry Sky～」を上映

東日本大震災での実際に起きた障害者施設や避難所での生活課題について当事者、支援者の動向を再現した映画を上映。「地域共生社会」の大切さについて再認識し、自治会活動、ボランティア活動、民生委員児童委員活動及び社協活動等が相互に連携しながら地域住民一人ひとりが支え合える地域共生社会づくりへと一層の推進を図ることを目的に、社協関係者に案内を行う。

・子ども福祉委員会活動【新規事業】

従来の福祉体験学習など（高齢者疑似体験や車いす体験）を目的としたものではなく、自分たちの住み慣れた地域を拠点として、多くの人や世代を超え、様々な福祉に関する活動に子どもたちが参加し、自分たちが住む地域の未来、できることについて考える機会を積極的に図る。

◎「御陵きらきら探検隊」」活動推進委員会の設置

参加メンバー⇒福祉委員、民生委員児童委員、子ども会関係者、学校関係者、ボランティア関係者計 7 名が委員として参加。委員が主体となり活動を実施。

メンバーと協議を重ね、御陵地区にフィールドを絞り、御陵小学校 4 年生 21 名を「御陵きらきら探検隊」として任命。名称は子どもたちが決め、地域の宝である「楽しいと感じることのできる機会や場面」を“きらきら”と表現し、それを探したいとの意味が込められている。

オリジナルの任命状を作成し、子どもたち一人ひとりに交付、任命する。

活動日	活動タイトル
7 月 4 日（木）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 1 回〕
7 月 18 日（木）	「御陵きらきら探検隊」の任命＆作戦会議！
8 月 29 日（木）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 2 回〕
9 月 27 日（金）	ミッション 1≪障がいから学ぶ≫ 障がい者スポーツ（パラスポーツ）を体験しよう！
10 月 3 日（木）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 3 回〕
10 月 21 日（月）	ミッション 2≪介護予防から学ぶ≫ こつこつ教室（高齢者の健康教室）へ参加しよう！
11 月 8 日（金）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 4 回〕
11 月 14 日（木）	ミッション 3≪地域の活動から学ぶ≫ 下合月集いの会（松岡下合月のサロン）へ行こう！
令和 2 年 2 月 7 日（金）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 5 回〕
2 月 13 日（木）	ラストミッション≪振り返る　共有する≫ みんなで“きらきら”報告会！
3 月 5 日（木）	「御陵きらきら探検隊」活動推進委員会〔第 6 回〕

＜広報･周知＞

7/19 付日刊県民福井の「ふくい地域～北から南から～」のコーナーに活動紹介記事掲
9/28 付福井新聞の「みんなで読もう」のコーナーに活動紹介記事掲載
町広報永平寺 9 月号の「まちかどショット」のコーナーに活動紹介記事掲載
町広報誌永平寺 11 月号の「特集」のコーナーに活動紹介記事掲載
町広報誌永平寺 3 月号の「特集」のコーナーに活動紹介記事掲載
地元 CATV(えい坊チャンネル)にて、全活動毎の編集映像が随時放映
当会広報誌(ほほえみ)8 月号、10 月号、11 月号、12 月号、3 月号にて、特集記事(表紙含む)掲載

◎子ども福祉委員活動助成事業(県社協)による助成金の交付決定
交付決定額 100,000 円 （交付申請額 100,000 円） ※3 月 31 日確定

(3) 小地域たすけあい活動の推進

・小地域福祉委員会活動の推進

小地域福祉委員会活動助成事業
今年度は、改訂した助成事業実施要綱の内容に基づき実施する。
町内 31 区（松岡 10 地区、永平寺 12 地区、上志比地区 9 区）
計 506,500 円の交付申請 交付決定額 481,500 円
※助成事業の目的やあり方については今後方向性等の決定が必要。

・地域包括支援センターとの連携した取り組み

毎月 1 回、「地域包括支援センター・地域福祉推進課連絡会」を開催。
互いの事業推進状況や要援護者報告等、情報共有を図る。
必要に応じ、課・センターを隔てた事業推進体制を検討、実施した。

・ワンストップサービスの推進強化

各事務所単位でのワンストップサービスを目指し、より早い課題解決や福祉に関する相談を身近なところで対応する。
◎相談受付・対応件数 355 件
（松岡事務所：254 永平寺事務所：33 上志比事務所：68）

・地区福祉座談会の開催（随時）

小地域福祉委員会、サロン、福祉委員との連携により必要に応じて地区に出向いて実施。
実績：8 か所

・高齢者慶祝訪問事業

100 歳の方を対象に長寿を喜び、ご本人やご家族の激励などを目的に訪問し、
記念品をお渡しした。
実施日 9 月 7 日（土）※町主催敬老会後
※100 歳祝いの年齢の考え方（大正 8 年 4 月 1 日～大正 9 年 3 月 31 日生まれの方）

（4）緊急時情報カード設置普及事業（町受託）

・更新地区/実施地区　松岡地区 36/46　永平寺地区 20/26　上志比地区 15/17

（令和 2 年 3 月現在）

全町内計 71/89　普及率　79.8%　今後も普及啓発を図る。

（5）地域ふれあいサロン事業（町受託）

実施地区　…　60 か所（−１）

・サロン代表者会議の開催

第 1 回サロン代表者会議（9 月 10 日（火）　会場：永平寺町開発センター）

38 名出席

・後期助成金申請についての事務連絡

・各サロン活動に関する情報交換会

第 2 回サロン代表者会議（開催日 2 月 27 日（木）会場：永平寺町開発センター）

新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

08　福祉まつり事業

ふれ愛フェスタ 2019 の開催

・開催日時　6 月 2 日（日）　10：00〜15：00　※社会福祉大会と併催

・会場　上志比文化会館サンサンホール

・テーマ　「共生と共感」

・サブテーマ　“未来へ結ぶ“

・来場者数　推定 1,500 人（前年度比；-500 人）

・協力　29 団体（前年度比；+12 団体）

・協賛　企業 133 社（前年度比；＋1 名社）　個人 4 名（前年度比；±0 名）

協賛金額 730,800 円（前年度比；＋3,800 円）

協賛物品 13 点（前年度比；-2 点）

09　物品貸出事業

・福祉車両の無料貸出し

物品貸出件数　…　345 件（前年度比；-58 件）

（物品/183 件）視聴覚機器 56 件、レクリエーション 41 件、車椅子 82 件、一般機材 4 件

（マイクロバス利用件数/106 件）

（福祉車両 3 台/56 件）

※広報誌 8 月号で社協の福祉器具、レク用具の無料貸出広報

10　団体事務事業

住民団体の円滑な運営を補佐し、住民活動の促進を図る。

・永平寺町遺族連合会

役員会、決算監査　　4 月 11 日（木）
総代会　　5 月 24 日（金）
福井県戦没者追悼式　8 月 24 日（土）
三役・女性部長会　　9 月 12 日（木）
永平寺町戦没者追悼式 10 月 25 日（金）

・永平寺町英霊顕彰奉賛会
・福井県英霊顕彰奉賛会事務局
・福井県共同募金会永平寺町共同募金委員会

共同募金助成交付式　5 月 9 日（木）
決算監査　　5 月 23 日（木）
第 1 回共同募金委員会 6 月 19 日（水）
令和元年度赤い羽根共同募金運動　　10 月 1 日（火）～実施予定
※広報誌 9 月号で赤い羽根共同募金運動開始の広報
第 2 回共同募金委員会 3 月 25 日コロナ対応審査委員会

【令和元年度共同募金運動実績】

Ⅰ．令和元年度赤い羽根共同募金実績

令和元年度募金額	平成 30 年度募金額	実績差額
2,678,502 円	2,803,298 円	△124,796 円

赤い羽根(一般募金)共同募金助成（5 月 9 日（木））
・団体　18 団体　　・社協　4 事業
助成金合計額　　2,291,413 円（平成 30 年度募金助成）

Ⅱ．令和元年度地域歳末たすけあい募金

令和元年度募金額	平成 30 年度募金額	実績差額
2,467,557 円	2,623,490 円	△155,933 円

・社協　8 事業
助成金合計額　　1,724,798 円(令和元年度募金助成:剰余金 522,759 円一般募金へ)

11　ボランティアセンター活動事業

(1) ボランティアセンター運営委員会の運営

・運営委員会の開催

第 1 回　令和元年 6 月 7 日（金）　えい坊館
第 2 回　令和 2 年 2 月 21 日（金）　えい坊館

（2）ボランティア活動に関する相談・登録・コーディネート事業

・コーディネートを積極的に推進し、登録および実績の件数の増加を図る。

・ボランティア団体等実態調査（保険加入書類とともに3月に活動報告を提出）

ボランティア登録件数及びボランティア相談件数

	令和元年度	平成30年度	備　考
個人登録数	29人	24人	少しずつだが、個人ボランティアが増えている
団体登録数	1042人 （69団体）	1024人 （60団体）	学生ボランティア（BBSサークルや県大ボランティア部など）部員数が減っている。しかし、他の団体が増えてきている。（主に演芸、演奏、民謡、美化活動等）
相談件数	303件	232件	松岡事務所に相談が集約されるようになってきたため、件数が増えたと思われる。 ・ボランティアをしたい　27件 ・ボランティアがほしい　184件 ・情報提供（活動場所、施設ボランティア等）　20件 ・情報収集（福祉教育（盲導犬）等）　3件 ・活動支援（サロンンチラシ作成等　61件 ・ボランティア活動保険　4件 ・その他（エコキャップ贈呈等）　4件

・社会福祉施設、介護保険事業所の受け入れ担当職員の連絡会議の開催（年1回）

町内福祉施設のボランティア担当者を対象にボランティアセンターへの理解と施設間の連携を図る。

＜実施日＞4月26日(金)開催　各施設のボランティア受入状況を報告し意見交換。

参加者9名（施設名：アニス松岡、はぁもにぃ永平寺　永平寺ハウス　ほっこり、ひかり苑　事務局）

（3）ボランティア活動に関する啓発・広報、情報提供事業

・各種媒体による広報活動

・社協広報誌「ほほえみ」にてボランティア募集や活動報告等の記事を掲載。

・ホームページにて活動写真の紹介や講座研修の案内など毎月更新。

・FBCラジオ出演9月18日（水）わくわく一座

県ボランティア月間30周年のラジオ啓発事業

・ボランティア月間30周年記念福井県ボランティアのつどい11月30日（土）

県社協主催への参加　会場FBCホール　（ボランティア5名）

・各種助成金の案内（ホームページにて周知）

大和証券福祉財団ボランティア活動助成に「かさじぞう」を推薦

（4）ボランティア講座、研修会の開催

・やさしい手話講座（2回）　講師：手話サークル「友情」

6 月 2 日(日)ふれ愛フェスタ 2019　ミニ手話講座(約 150 名参加)

8 月 1 日（木）松岡児童クラブ　参加者 90 名

・ボランティア活動者交流会

9 月 28 日（土）28 名参加（ボランティア 22 人　施設職員 6 人）

（2 グループの活動報告、施設の受入状況報告　情報交換会）

・ボランティアリーダー研修講座「かんたん健康体操講座」

講師：生涯体育学習振興機構

11 月 9 日（土）会場：永平寺開発センター　参加者 31 名

・シニア研修「遺品整理・生前整理セミナー」　講師：青木克博行政書士

12 月 5 日（木）会場：松岡福祉総合センター　参加者 39 名

(5)　福祉教育・学習の推進（地域ぐるみ福祉推進事業）

＜小中学校での福祉教育・体験教室の支援＞

・小中学校、地域での福祉教育・体験教室の支援　講師派遣

・車いす、点字・体験セットの貸出

	実施校	人数	学習内容	講師
4/22～4/26	各小中学校		本年度の福祉教育の案内をもって訪問	
9/17	吉野小学校	11 人	点字体験学習	サンライト　4 名
9/26	志比南小学校	9 人	アイマスク・車いす体験学習	常務・社協職員
9/26	松岡小学校	65 人	点字体験学習	サンライト　6 名
9/28	松岡小学校	65 人	車いす体験・シニア体験	社協職員
10/1	上志比小学校	25 人	高齢者疑似体験	社協職員
10/10	志比南小学校	9 人	手話体験学習	友情　6 名
10/15	志比南小学校	9 人	点字体験学習	サンライト　6 名
10/29	松岡小学校	65 人	アイマスク体験	光道園・社協職員
11/21	松岡小学校	65 人	盲導犬体験学習	光道園
12/9	志比小学校	19 人	車いす体験・シニア体験	社協職員

＜福祉活動＞（各小学校・中学校と協力、連携）

・福祉施設訪問や交流学習の要望を受け、コーディネートを行う。

5 月 31 日（金）上志比小学校　4 年生　デイサービスを訪問ゲームで交流

・福祉活動を中心に、小中学校の長期休業中にサマーボランティア活動をコーディネートし推進する。

6 月 10 日（月）サマーボランティア募集要項をもって各中学校を訪問。

8 月 8 日（木）松岡中学校　松岡デイサービス夏祭りの手伝い（12 人）

8 月 9 日（金）永平寺中学校　ほっこり夏祭り用ポスター作りの手伝い（4 人）

8 月 10 日（土）松岡中学校　ほっこり夏祭り手伝い（3 名）

8 月 22 日（木）永平寺中学校　永平寺デイサービス夏祭りの手伝い（6 名）
8 月 23 日（金）永平寺中学校　永平寺デイサービス夏祭りの手伝い（8 名）
11 月 29 日（金）上志比中学校　募金活動・文具寄付活動（全校生徒）
豪雨被災地へ寄付

（6）災害時における福祉救援体制の整備
・雪かきボランティア（スノーバスターズ）による支援および体制づくり
町内中学校（3 校）に依頼

（7）収集ボランティア活動の促進
・ペットボトル、プルタブの回収および回収活動の促進を図る。

	令和元年度	平成 30 年度
プルタブ	177.5kg（5,325 円）時価	200kg（8,200 円）時価
エコキャップ	2,014kg（ワクチン 1007 人分）	1,486kg（ワクチン 743 人分）

(8)災害復興支援プロジェクト
プルタブ換金←熊本地震義援金として寄付（赤い羽根共同募金として）
（9）災害ボランティアセンター連絡会の事務局運営
10 月 7 日（月）　災害ボランティアセンター連絡会　永平寺消防ホール
10 月 20 日（日）　松岡坂上区防災訓練への協力（リフト車貸）
2 月 9 日（日）　「地域で共に暮らすことを考える」研修会
映画「星に語りて～Starry Sky～」　会場：福井県立大学講堂　122 名参加
（10）ボランティア活動保険の加入窓口
・保険料助成事業の実施（令和 2 年 3 月末現在）
団体保険加入者　936 名（平成 30 年度 902 名）
個人保険加入者　26 名（平成 30 年度 23 名）

12　共同募金配分金事業

01 一般配分金事業

（1）障がい児（者）の社会参加と保護者の親子リフレッシュ事業
9/22（日）に行先を滋賀県とし実施。障がい児（者）の親子の参加で、当事者 25 名、ボランティア 5 名、職員 5 名の参加。
（2）障がい児・者の豊かな発達を考えるつどい
3/6（金）に「見てみようわが町の障がい福祉サービス事業所」を予定していたが、コロナウイルスの感染拡大予防とし、中止とする。
（3）児童遊具の修繕等助成事業
1 件　　60,000 円（1 地区）

02 歳末配分金事業

(1)　ひとり暮らし高齢者への歳末おせち料理配食事業

配布期間 12 月 28 日（土）、29 日（日）　対象者 342 名

(2)　ひとり暮らし高齢者の集い

開催日：10 月 17 日（木）

会　場：すかっとランド九頭竜　　参加者 76 名

(3)　在宅重度障がい者等への支援金配布（12 月実施）

対象者 81 名　協力：民生委員児童委員

(4)　生活困窮世帯への支援金配布（12 月実施）

対象者 14 名　協力：民生委員児童委員

(5)　母子父子家庭児童への図書券贈呈（12 月実施）

対象者 75 名　協力：民生委員児童委員

(6)　障害児者福祉施設への激励訪問事業

9 月 17 日（火）～9 月 20 日（金）にかけて行程を組み実施。

12 名（昨年度比 +1 名）の理事、監事、評議員、民生委員児童委員の参加で、14 施設、延べ 34 名（昨年度比 -6 名）の対象入所者のもとへ激励訪問を行う。

(7)　会食サービスの実施（4 回）

・3 地区でひとり暮らし高齢者等を対象に会食サービスを実施。

松岡地区と永平寺・上志比地区で実施

花菖蒲園：6/13（木）永平寺・上志比地区　　6/18（火）松岡地区

勝山方面：8/1 （木）永平寺・上志比地区　　8/6 （火）松岡地区

松岡福祉総合センター：12 月 10 日（火）合同（松岡・永平寺・上志比）

・延べ参加者数　松岡地区：91 名、永平寺地区：49 名、上志比地区 26 名

(8) 家屋漏電点検事業

11 月 20 日（水）～12 月 9 日（月）にかけて実施。

実績　20 件

(9) 歳末たすけあい事業

障がい児者との世帯間交流会

11 月 9 日（日）、チャリティバザーと併催。喫茶コーナーを設ける。

収益は、福祉サービス利用料負担軽減事業

協力：わらい食堂、個人ボランティア 4 名

03 災害配分金事業

13 チャリティ事業

・開催日：11 月 9 日（日）　会場：やすらぎの郷
・チャリティバザー品協力：赤十字奉仕団、婦人福祉協議会、福祉委員
・準備および当日販売協力：赤十字奉仕団
・収益金　１７７，８６５円
・収益は、福祉サービス利用料負担軽減事業へ

03 福祉サービス利用支援事業

14 福祉総合相談事業

(1)「心配ごと相談」の開設

・各社協窓口で対応。必要に応じて民生委員児童委員につなぐ（相談数は 0 件）
相談受付・対応件数　355 件
（松岡事務所：254 件、永平寺事務所：33 件、上志比事務所:68 件
相談内容　福祉サービス、貸付関連、地域福祉関連、
その他（サロン、ボランティア関係）

(2) 弁護士による無料法律相談所開設

・各地区持ち回りで毎月開催する。(8,10,12 月は 2 回開催)
15 回開催、相談者　計 51 名

(3) 講座・セミナーの開催

8/3（土）　全町民を対象とした障害福祉推進に関わるセミナーを松岡公民館にて開催
「みんなでつくるやわらかい永平寺町　パート２」
講師：又村　あおい　氏　　参加者 120 名
※永平寺町自立支援協議会、NPO 法人はぁもにぃ永平寺との共同開催

12/7（土）講演　命をつなぐメッセージ
「死にたい人間なんて誰もおらん…本当はみんあ行きたいんですわ」
講師：東尋坊のちょっと待ておじさん
命の番人　　茂　幸雄氏
参加者 99 名

(4)相談機関連絡会の開催　【新規事業】

＊リリーフネットワーク（仮称）と称して町内における
相談従事者の研修交流会を3/5に予定していたが、コロナ
ウイルスの感染拡大予防の為に中止とする。

・生活保護受給者等就労自立促進事業協議会への出席（5月23日：ハローワーク）

15　日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

・利用者数：14 人（認知症高齢者 7 人、精神障がい者 6 人、知的障がい者 1 名）
・新規契約締結件数：4 件（認知症高齢者 2 件、精神障がい者 2 件）
・相談援助件数：409 件（認知症高齢者 237 件、精神障がい者 143 件、知的障がい者 22 件、他 7 件）
・5 月 17 日（金）　日常生活自立支援事業担当者会議へ専門員 2 名が参加
・10 月 7 日（月）　日常生活自立支援事業専門員連絡会へ専門員 1 名参加
・10～11 月（全 3 回）成年後見制度講座（実務編）へ専門員他 5 名参加
・12 月 26 日（木）　自社協生活支援員連絡会（講師県社協小澤氏）生活支援員 4 名、専門員 4 名
・3 月 18 日（水）　福祉サービス利用事業「生活支援員研修会」新型コロナにより中止

16　資金貸付事業

01　緊急小口資金貸付事業

・一時的な生活困窮に陥った人を対象に緊急に資金を貸し付け世帯の自立更正を図る。
　貸付残高　件数　5 件　　金額　61,000 円
　食糧支援　件数　9 件

02　生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

・利用者数：生活福祉資金　　26 名
・生活福祉資金残高　　18,979,890 円

（1）生活福祉資金調査委員会の開催（5 月 25 日、9 月 28 日、3 月 24 日）
（2）民生委員会での制度研修会（2 月実施）
（3）生活福祉資金の広報活動　…　2 回（教育支援資金、コロナ対応特例貸付）ホームページ
（4）貸付相談…39 件　償還指導…15 件　貸付中相談…5 件　その他…16 件

17　福祉サービス利用料負担軽減実施事業

・低所得者を対象に利用負担金の補助を行う（1 か月限度額 10,000 円）。
　利用者：3 名（前期比 3 名減）

18　障害者計画相談支援事業

・障がい者（児）や難病疾患者の自立した生活を支えるため、当事者が抱える課題の解決に向け、多職種と連携強化を図り、ケアマネジメント、サービス等利用計画の作成にあたった。

・職員体制：管理者 1 名（相談支援専門員を兼ねる）
相談支援専門員 2 名（内、1 名は管理者を兼ねる）（前年度比-1 名）
・契約利用者状況：計画相談支援…56 名（前年度比　+20 名）
障害児相談支援…26 名（前年度比　+13 名）
＊町内における障害福祉サービスの利用者は年々増加。
・5 契約終了（一般就労 3 名、死亡 2 名）

・相談支援専門員の育成：「令和元年度福井県相談支援従事者初任者研修」に参加
・5 名の職員（事業所外職員）が受講（修了）

19　成年後見サポートセンター事業

(1)相談事業　1 件　内容　被補助人の取消
(2) その他補助人申立への支援　1 件

04　在 宅 福 祉 サ ー ビ ス 事 業

（所轄；在宅福祉サービス課）

＜総括＞

当課所轄事業での事業活動収支差額は平成 30 年度と比較し、23%増となり、収入１%増、支出 1%減を目標にしてきたことが反映した結果となった。介護保険収入額も平成 30 年度と比較し 1.1%減に留まり、令和元年 9 月末にて福祉用具貸与・販売事業を廃止した影響は大きく出なかった。それも小規模多機能型居宅介護事業所の新規利用者様の増加や介護報酬加算等の新規申請などにより安定した収入の確保ができたためである。また福祉人員確保の困難さをばねに効率性・協調性を強化することにより、支出を抑制できたことも介護保険事業所の運営安定の要因ともなった。

令和元年度後半は新型コロナウイルス感染拡大防止に尽力することになり、新たな介護現場内でのルール作りや介護生活での常識の再認識の重要性について奮闘した。結果的には、感染者を出すことなく運営できたが、通年のリスク管理として掌握していく必要性を感じている。

介護職員の外部の事業所での研修を実施し、介護保険事業所のご利用者様へのサービス手法等について、各事業所での改善点の発見にも繋がりつつある。

町受託事業については、関係機関と連携しながら事業運営方法等について協議し、中長期計画にて運営方法等を変更していく時期でもある。指定管理を受けている永平寺老人福祉センターにおいては、地域サロン事業の開催場所として利用の定着化により若干の入館者数が増加した。今後も来所者の満足度の向上を目指すとともに、介護予防及び相互の集いの場として積極的に周知していきたい。

事故は昨年度より増加し、特に介護・車両事故については法人全体の約 9 割が当課の事業所で発生しており、同じような事故が発生しないようにさらに強化すべきと反省する。また苦情

については、例年よりも減少したが、ご利用者様や介護者様とのコミュニケーションの重要性を再認し、今後も適切な対応・応対を心掛けるべきと考える。

最後に、今後も町内の様々な事業所と連携し、町内の福祉の向上に向けて貢献していくと共に、住み慣れた地域での生活が継続できるよう、中長期的な視点をもっていく責務を感じている。

令和元年度受講研修

月日	内容	参加事業所	参加者数
R 元年 8 月～R2. 2 月	主任介護支援専門員更新研修	小規模ほっこり	1 名
R 元年 8 月～10 月	相談支援従事者研修		1 名
R 元年 11 月	職場研修担当者研修		1 名
R2 年 1 月	コーチング研修（キャリアアップ）		1 名
R 元年 5 月～8 月	認知症実践者研修	松岡デイ	2 名
R 元年 6 月	認知症基礎研修		1 名
R 元年 8 月	社協ワーカー養成研修		1 名
R 元年 11 月	接遇研修	永平寺デイ	1 名
R 元年 11 月	東海ブロック研修		1 名
R2 年 1 月	コーチングを介護現場で活かす方法		1 名
R2 年 1 月	中堅職員フォローアップ研修		1 名
R 元年 11 月	認知症対応型サービス事業管理者研修	上志比デイ	1 名
R 元年 12 月	福井県障がい者虐待防止・権利擁護研修	えいへいじ訪問介護ステーション	1 名
R2 年 2 月	福井県強度障害支援者養成研修　基礎研修		1 名
H31 年 4 月	永平寺町介護認定調査委員研修	えいへいじ居宅	1 名
H31 年 4 月	主任介護支援専門員更新のための基礎研修		1 名
R 元年 5 月	難病研修会		1 名
R 元年 6 月	在宅における暴力, ﾊﾗｽﾒﾝﾄの予防と対策		3 名
R 元年 6 月	アセスメント研修		3 名
R 元年 6 月	介護支援専門員研修		7 名
R 元年 6, 7 月	介護支援専門員更新研修課程Ⅱ(8 回)		1 名
R 元年 7 月	介護支援専門員研修		3 名
R 元年 7 月	禅から ZEN へ 令和時代の新しい街づくりを考える		3 名
R 元年 8, 9 月	主任介護支援専門員更新研修(8 回)		1 名
R 元年 8 月	福祉研修会		5 名
R 元年 8～10 月	相談支援従事者初任者研修(7 回)		1 名
R 元年 9 月	多職種連携合同研修会		9 名
R 元年 11 月	パワーハラスメント対策研修		8 名
R 元年 12 月	誤嚥性肺炎の予防法・食事編		1 名

R 元年 12 月	デイサービスセンター職員交流･実践研修 （ 長寿園デイサービスセンターりらくへ依頼）	各デイ	４名
R2 年 1 月	コーチングを介護現場で活かす方法～	在宅福祉サービス	１名

主催研修

R 元年 10 月	今求められる介護福祉士像とは （介護福祉士会へ依頼） 	法人全体	４２名
R2 年 3 月 6 日	フィードバック研修会	在宅福祉管轄 事業所	新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

14 ホームヘルプ事業

《01　ホームヘルプ事業》

・営業日数　　366 日（前年度比；+1 日）
・実利用者数　　731 件（前年度比；＋85 件）
・延べ訪問回数　　9,235 回（前年度比；-132 回）

令和元年度　要介護度別利用者数（実人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
事業対象者	1	1	3	4	3	3	3	2	2	2	2	2	28
要支援１	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	42
要支援２	5	5	7	7	7	6	7	7	9	7	9	8	84
要介護１	20	20	16	17	15	18	21	19	19	17	19	20	221
要介護２	12	10	11	17	17	12	13	16	17	17	16	15	173
要介護３	7	7	6	6	8	8	8	8	9	8	9	9	93
要介護４	6	5	6	6	7	6	5	4	5	5	5	4	64
要介護５	4	2	2	1	1	1	2	4	3	2	1	3	26
合　　計	58	53	54	61	62	58	63	64	68	62	64	64	731

《02　自立支援居宅介護事業》

・延べ利用件数　　208 件（前年度比；-13 件）
・延べ訪問回数　　1,505 件（前年度比；-171 件）

《03　介護保険対象外サービス事業》

・延べ利用件数　　68 件（前年度比；＋8 件）

・延べ訪問回数　　209 件（前年度比；＋118 件）

15 デイサービス事業

一般浴室がリニューアルされました！

《01　松岡デイサービス事業》

・定員　45 名

・開所日数　　309 日（前年度比；+1 日）

・実利用者数　　875 件（前年度比；-35 件）

・延べ利用人数　9,691 人（前年度比；-593 人）

・利用率　　69.6%（前年度比：-4.5%）

令和元年度　要介護度別利用者数（実人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
事業対象者	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	25
要支援１	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	1	27
要支援２	6	5	5	4	4	5	5	5	5	5	6	6	61
要介護１	26	26	25	25	22	22	23	21	21	23	22	20	276
要介護２	19	18	19	19	22	23	21	21	19	20	19	19	239
要介護３	11	11	12	13	13	11	12	10	10	11	10	8	132
要介護４	5	5	6	6	5	6	7	4	5	5	6	7	67
要介護５	6	5	3	3	3	3	3	4	4	4	4	6	48
合　　計	77	74	74	75	75	75	76	69	68	72	71	69	875

《02　松岡身体障がい者デイサービス事業》

・開所日数　　309 日（前年度比；+283 日）

・実利用者数　　1 件（前年度比；±0 件）

・延べ利用人数　　198 人（前年度比；+172 人）

《02　永平寺デイサービス事業》

・定員 40 名

・開所日数　　309 日（前年度比；+ 1 日）

・実利用者数　　789 件（前年度比；-40 件）

・延べ利用人数　8,648 人（前年度比；-241 人）

・利用率　　69.9%　（前年度比：-2.2%）

ランチバイキングの様子

令和元年度　要介護度別利用者数（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	3	2	22
要支援１	1	1	1	1	1	3	4	4	4	5	4	4	33
要支援２	4	3	3	3	3	3	3	4	5	4	7	6	48
要介護１	23	21	20	22	22	22	21	22	23	23	26	25	270
要介護２	15	15	14	13	13	12	12	13	13	12	13	14	159
要介護３	10	10	9	9	9	11	10	9	9	8	10	10	114
要介護４	11	11	11	9	10	9	12	12	9	11	11	10	126
要介護５	2	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	2	17
合　　計	69	65	61	60	62	64	64	66	65	65	75	73	789

《04　永平寺身体障がい者デイサービス事業》

・開所日数　　309 日（前年度比；+293 日）
・実利用者数　　2 件（前年度比；+1 件）
・延べ利用人数　　192 人（前年度比；+176 人）

《05　上志比デイサービス事業》

・定　　員　35 名
・開所日数　　309 日（前年度比；+3 日）
・実利用者数　　728 件（前年度比；+8 件）
・延べ利用人数　　8,178 人（前年度比；+230 人）
・利用率　　75.6%　（前年度比：+1.4%）

児童交流の様子

令和元年度　要介護度別利用者数（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	3	3	3	3	4	5	4	4	4	3	3	3	42
要支援１	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	0	16
要支援２	3	3	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	38
要介護１	17	14	13	14	13	12	14	13	16	17	17	17	177
要介護２	21	20	22	23	24	22	21	20	20	18	18	18	247
要介護３	8	9	8	7	9	11	12	12	11	10	10	11	118
要介護４	8	6	5	6	6	4	4	4	4	3	3	2	55
要介護５	3	3	2	2	2	3	4	4	3	3	3	3	35
合　　計	65	60	59	60	63	61	63	61	63	58	58	57	728

16 小規模多機能型居宅介護支援事業

毎年恒例 ほっこり夏祭り

・開所日数　　325 日（前年度比：-17 日）
・延べ利用人数　2,681 人（前年度比；+34 人）
（内訳）　通所　　2,444 人（前年度比；+264 人）泊り　　30 人（前年度比；-40 人）
　　訪問　　207 人（前年度比；-190 人）
・登録者数　13 名（前年度比；＋1 名）
・運営推進会議　　6 回開催（3 月は新型コロナウィルス拡散防止のため書面にて）

令和元年度登録者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
要支援 1													0
要支援 2													0
要介護 1	6	6	6	6	6	6	7	6	6	6	6	5	72
要介護 2	7	6	6	6	7	7	8	8	8	6	6	6	81
要介護 3	4	5	4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	33
要介護 4													0
要介護 5													0
計	17	17	16	15	16	15	17	16	16	14	14	13	186
平成 30 年度	12	12	14	12	10	12	13	12	11	10	12	12	142

令和元年度提供回数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
通　い	250	249	197	212	206	201	224	209	187	164	166	179	2,444
宿　泊	6	3	5	4	4	4	2	2	0	0	0	0	30
訪　問	5	8	14	18	35	34	19	18	16	16	15	9	207
計	261	260	216	234	245	239	245	229	203	180	181	188	2,681
平成 30 年度	234	276	297	219	190	228	269	235	194	146	178	181	2,647

17 訪問入浴介護事業

《01　えいへいじ訪問入浴介護事業》
・延べ利用件数　　26 件（前年度比；-25 件）
・延べ利用回数　　140 回（前年度比；-79 回）
・利用者数：1 名（R2.3.31 現在）

《02　障がい者訪問入浴介護事業》
・延べ利用件数　　36 件（前年度比；±0 件）
・延べ利用回数　　290 回（前年度比；＋41 回）
・利用者数：3 名（R2. 3. 31 現在）

18 居宅介護支援事業

定期的な勉強会も
おこなっています

《01　えいへいじ居宅介護支援事業》

１）居宅介護支援事業（要介護認定者）
　・ケアプラン作成件数　3, 648 件　（前年度比；＋53 件）
２）要介護認定調査（町受託）
　・調査件数　　253 件　（前年度比；-47 件）
３）介護予防サービス計画作成（地域包括支援センターより受託）
　・予防プラン作成件数　　256 件　（前年度比；±0 件）

19 福祉用具貸与事業

《01　福祉用具貸与事業》
〇延べ利用件数　818 件（前年度比；-1, 140 件）
　　令和元年 9 月 30 日にて事業廃止

《02　福祉用具販売事業》
〇延べ販売件数　14 件　（前年度比；-53 件）
〇住宅改修　　4 件　（前年度比；-16 件）
　　令和元年 9 月 30 日にて事業廃止

20 高齢者生活支援事業

《01　配食サービス事業（町受託)》
・実施回数　　各地区：　141 回（前年度 144 回；-3 回）
・延べ利用実績数　　8, 340 食（前年度比；＋334 食）
・地区別延べ利用数　　各地区　週 3 回

	地　　区	配食数(食)	左記のうち セルプ事業分	前年度比
令和元年度 実績数	松岡地区	4, 961	586	386
	永平寺地区	904	718	124
	上志比地区	2, 475	0	-176
	３地区合計	8, 340	1, 304	334

《02　介護用品支給事業（町受託)》

・延べ利用件数　　3,491 件（前年度比；　+204 件）

・延べ利用枚数　 308,878 枚（前年度比；-6,952 枚）

《03　寝具洗濯サービス事業（町受託)》

・利用者数　　一人暮らし高齢者　　96 名（前年度比；+ 1 名）

要介護 3 以上高齢者　 25 名（前年度比；-12 名）

要介護３以上内訳

要介護３	要介護４	要介護５	合計
12	8	5	25

《04　外出支援サービス事業（町受託)》

・延べ利用件数　　5,220 件（前年度比；ー99 件）

《05　家族介護者教室事業（町受託)》

１）家族介護者教室事業・介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識・技術を習得してもらうための教室を開催。

○「「オムツの選び方、当て方、漏れ対策」
「ツボを使ったセルフマッサージ」やすらぎの郷にて　　17 人参加　（ 9 月 26 日）

○「在宅での介護や看取りについて」永平寺老人福祉センター　27 名参加　（11 月 13 日）

２）家族介護者交流事業・日帰り小旅行などの機会を提供し、介護者相互の交流の中で、心身の元気回復やリフレッシュを図るとともに、貴重な体験を通してお互いの情報交換を図る目的で開催。

○「法話ライブ」“善導寺”うおまさカフェにてランチ
29 人参加　（6 月 27 日）

○「寄せ植えと会食会」“見谷ナーセリー・ファームビレッジさんさん”にて
22 名参加　（1 月 21 日）

○「日帰り温泉　国民休暇村」コロナウイルス感染予防により中止　　（3 月 12 日）

合計　　95 名参加（前年度比：-39 名）

21 施設管理運営事業

《01　永平寺老人福祉センター運営事業》

・開所日数　　234 日（前年度比；　-7 日）

・延べ利用者数　　5,251 人（前年度比；+89 人）

大盛況のわくわく
一座新春公演

【永平寺老人福祉センター　入館者数推移】

	令和元年度			平成３０年度		平成２９年度	
	収入額	入場者数	増減	収入額	入場者数	収入額	入場者数
4 月	55, 150	460	134	33, 650	326	36, 400	333
5 月	37, 500	435	68	26, 250	367	53, 500	395
6 月	36, 300	458	120	36, 750	338	47, 400	489
7 月	43, 650	508	204	42, 950	304	57, 200	460
8 月	37, 450	553	125	27, 150	428	45, 600	388
9 月	41, 100	398	63	37, 100	335	42, 500	472
10 月	43, 850	543	130	35, 800	413	64, 600	428
11 月	42, 800	474	48	38, 300	426	36, 200	358
12 月	43, 200	333	−172	36, 150	505	69, 100	519
1 月	32, 800	469	−37	48, 800	506	33, 650	350
2 月	29, 550	346	−160	48, 200	506	20, 700	196
3 月	51, 550	274	−434	56, 650	708	60, 250	431
合計	494, 900	5, 251	89	467, 750	5, 162	567, 100	4, 819

永寿苑送迎車両乗車延べ人数

永寿苑～志比～永寿苑　3, 381 人　（前年比−817 人）

禅の里送迎車両乗車人数

禅の里～永寿苑～翠荘　2, 752 人（前年比−914 人）

05　地域包括支援センター

（所轄；地域包括支援センター）

＜総括＞

町からの受託事業として、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行った。

今年度は、地区説明会など積極的に地域に出向き、高齢者の総合相談窓口としての周知行った。相談件数は昨年を上回る結果となり、周知活動の効果も相談件数増加の要因と考える。年々増加している支援困難なケースについては、他機関との連携、地域ケア会議、認知症初期集中支援チームなど適切な方法につなげて解決を図った。多職種で連携、検討することで、地域の関係者（機関）のネットワーク構築の強化にもつながった。

地域で支え合う体制づくりでは、上志比地区において座談会がサポートの会に発展し、活動に向けてスタートした。一方、他の地区での取り組みについては十分な関わりができなかった。住民主体の通いの場（いきいき百歳体操）については、積極的な推進及び継続支援により、取り組み箇所の維持、拡大を認めた。
2 月後半にはコロナウイルス感染拡大防止のため、全ての介護予防教室及び予定していた事業を中止。年度当初に掲げた計画通りに事業が遂行できない結果となった。

28　地域包括支援センター

≪包括的支援事業≫

〇総合相談・支援事業

①総合相談業務

年　度	延べ人数
H30 年度	1,281 件
R 1 年度	1,524 件（＋243 件）

地域包括支援センターの相談件数は年々増えており、相談内容も多様化・複雑化し、高齢者本人のみならず家族全体の支援を必要とする相談が増えてきている。
相談内容では介護保険サービスについての相談が最も多く、次いで医療機関の入退院、連携について、認知症に関する相談が多くあった。

②総合相談窓口としての周知

地域包括支援センターについて広報、啓発活動を行った。
（地区説明会 22 地区、チラシの配布、出前講座などで周知）

〇権利擁護業務

問題解決が困難な状況にある高齢者が、地域で安心して尊厳のある生活をおくることが出来るよう、専門的・継続的な視点からの支援を行った。

①成年後見制度の活用促進

認知症により判断能力が低下した方の権利を護るために成年後見制度ついて本人、家族、施設関係者の相談支援を行った。

年度	延べ相談・対応件数
H30 年度	14 件
R1 年度	6 件（ー8 件 ）

②高齢者虐待への対応

年度	実人数	延べ相談・対応件数
H30 年度	13 人	46 件
R1 年度	22 人	63 件（+17 件）

ケアマネや介護事業所、医療機関、警察署また近隣住民からの相談や通報により事実確認等を行った結果、必要に応じて分離やサービスの検討を行うとともに、見守り支援を継続して行った。

③支援困難事例への対応

ケアマネやサービス事業所等から認知症や虐待などを起因とする困難事例に対して、地域ケア会議の開催や医療機関、その他の機関と連携を持ちながら、解決に向けて対応を行った。

相談件数 15 件（延べ 51 回）

〇包括的・継続的ケアマネジメント業務

１）地域密着型サービス事業所との連携

地域密着型サービス事業所の運営推進会議に参画し、情報共有を行いながら、事業所や地域の関係者とのネットワーク強化に努めた。

認知症対応型共同生活介護	グループホーム ないろ	6 回出席
小規模多機能型居宅介護	小規模多機能 ないろ	6 回出席
	小規模多機能型居宅介護事業所 ほっこり	6 回出席
認知症対応型通所介護	いちごデイセンター松岡	2 回出席

２）介護支援専門員に対する支援（町内の介護支援専門員）

〇ケアマネ連絡会

町内居宅介護支援事業所が一同に集まる機会を設け、新たな介護保険情報や福祉保健課からの連絡事項の伝達、研修会の案内や介護支援専門員の情報交換を行った。

毎月 1 回開催

〇介護支援専門員研修会

介護支援専門員のスキルアップのための研修会を開催。

日　時	内容	参加人数
6 月 12 日（水）	「在宅医療・介護資源リスト」の内容見直し	15 名
7 月 3 日（水）	自立支援ケア会議、助言者としての役割について（主任ケアマネ対象）	8 名

〇介護支援専門員が抱える困難事例の解決を行うため、個別の相談に応じた。

年　度	延べ人数
H30 年度	53 件
R 1 年度	72 件（+19 件）

３）地域ケア会議

〇個別ケース検討会議

介護支援専門員・民生委員から支援困難な事例の相談に応じ、地域ケア会議を開催し、解決の糸口を探り、対応に向けての話し合いを行った。

年　度	数
H30 年度	4 事例
R 1 年度	5 事例（＋1 事例）

○自立支援ケア会議

年　度	数
H30 年度	14 事例
R 1 年度	6 事例（-8 事例）

≪在宅医療・介護連携推進事業≫

○多職種連携研修会の開催

月　日	内　容	参加者数
9 月 27 日(金)	見える事例検討会	45 名

○住民への在宅ケア普及啓発講演会の開催

月　日	場　所	参加人数	内　　容
10 月 26 日（土）	永平寺開発センター	34 名	テーマ：「在宅医療で“生きる”に寄り添う ～訪問診療の現場から～ 」 講師　オレンジホームケアクリニック 院長　宮武寛知氏

○福井県入退院支援ルールに関する圏域代表者会議への出席

月　日	内　容
4 月 4 日（木）	福井県入退院支援ルール検討会

○永平寺町立在宅訪問診療所運営協議会への出席

月　日	内　容
7 月 16 日（火）	・在宅医療介護連携推進事業について ・永平寺町立在宅訪問診療所について

○永平寺町在宅医療・介護連携推進協議会への出席

月　日	内　容
7 月 19 日（金）	・永平寺町在宅医療・介護連携推進協議会の体制 ・在宅医療・介護連携推進事業の取り組み・活動計画

○地域の医療･介護の資源リストの情報更新

平成 26 年度に作成した資源リスト集の更新を行った。

介護支援専門員研修会にてリスト様式の見直しを行い、町内外の関係機関へリスト用紙の配布、回収を行い、完成したリスト集を 2 月に配布(63 事業所)。

《生活支援体制整備事業》

●地域全体で高齢者の生活を支援する体制を構築。

○地域資源、地域課題の把握

・サロン活動グループへアンケートを実施

・地域ケア会議の参加

○協議体（永平寺町支え合いのまちづくり会議）の開催

開催日時	会議名	内容
R1.6.28	第1回永平寺町支え合いのまちづくり会議	・第2層の動向について ・町内社会資源について

○地域支え合い座談会の開催

上志比地区

開催日時	会議名	内容
H31.4.24	第1回上志比地区地域支え合い座談会	地域におけるニーズの把握アンケート作成について
R1.7.31	第2回上志比地区地域支え合い座談会	アンケート実施に向け委員による袋詰め作業
R1.8.1～ R1.10中		委員及び福祉委員にてアンケート配布855世帯
R1.11.27	第3回上志比地区地域支え合い座談会	アンケート結果について（回収数315世帯）
R1.12.16	第4回上志比地区地域支え合い座談会	講演 越前市東地区における住民活動の取り組み
R2.1.31	第5回上志比地区地域支え合い座談会	今後のまちづくり・活動について
R2.2.17	第6回上志比地区地域支え合い座談会	「上志比地区ひまわりサポートの会」の結成
R2.3.7	上志比地区ひまわりサポートの会	今後の活動について

永平寺北地区

開催日時	会議名	内容
R1,5.31	第1回北地区地域支え合い座談会	座談会目標について 今後の座談会について

永平寺中地区

開催日時	会議名	内容
H31.4.19	第1回中地区地域支え合い座談会	中地区における現状や課題

		について意見交換
R1.9.25	第2回中地区地域支え合い座談会	永平寺町における地域包括ケアシステムについて啓発活動

〇地域支え合いまちづくりついての啓発

・吉波サロンにて地域包括ケアシステムについて啓発活動

令和元年5月17日　15名参加

〇支え合いのまちづくりフォーラムの開催

日　　時　　令和元年12月8日（日）　9：20～12：00

会　　場　　永平寺開発センター　3階大ホール

参加人数　　54名

（目的）　支え合いの必要性を理解し、地域の困りごとを我が事として捉え、自分の「できること」で住民同士が支え合うまちづくりを進めることを目的として開催した。

（内容）　講演会 ： テーマ　「あなたは、どんな地域に暮らしたいですか？」

ご近所クリエーター　　酒井　保氏

ワークショップ ：「自然な支え合い探しのイ・ロ・ハ」

地域での繋がりの重要性についてグループワークを通して意見交換を行った。まちづくりに関する前向きで積極的な意見も多くみられた。

〇先進地視察研修

月　日	研修場所	内　容
9月18日（水）	福井県大野市地域包括支援センター	・大野市の生活支援体制整備事業への取り組み ・第1層、第2層の取り組みについて

≪認知症総合支援事業≫

〇認知症の正しい知識の普及・啓発事業

・団体や地区サロンに出向き「認知症サポーター養成講座や認知症についての話」を開催し認知症の理解のための啓発活動を行った。

月　日	対　象	人　数
4月 1日（月）	福井大学	94名
8月25日（日）	松岡神明2丁目	27名
10月 1日（火）	春日3丁目ハッピーサロン	27名
10月18日(金)	株式会社 ケアふくい	18名

・認知症サポーター養成講座の講師役となるキャラバンメイトの活動支援を行った。

8 月 7 日（水）キャラバンメイトの交流会　15 名参加

・認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指すための啓発活動としてまちづくり講演会を開催。

月　日	内　容	参加人数
6 月 23 日（日）	○講演会 「認知症になったら、あなたならどうする？ ～この町で暮らしていくためのヒント～」 講師：福井大学医学部地域医療推進講座 講師 山村　修氏 ○認知症予防体操 脳と体を同時に鍛える「コグニサイズ」で 楽しく認知症予防 ○町内の介護保険事業所や認知症カフェの紹介	43 名
11 月 16 日（土）	○講演会 「認知症を知って自分たちの出来ること」 講師：嶺北認知症疾患医療センター 看護師 安江　恭代氏	26 名

・認知症高齢者見守り模擬訓練の実施

月　日	実施地域	参加人数	協力事業所
8 月 25 日（日）	松岡神明 2 丁目区	24 名	株式会社 ケアふくい　6 名 いちごデイセンター松岡　2 名
11 月 10 日(日)	諏訪間区	41 名	永平寺ハウス　1 名 永平寺町社会福祉協議会　5 名 いちごデイセンター松岡　2 名

○徘徊高齢者などへの対策強化

・出前講座や地域ケア会議等で、住民や関係者に徘徊高齢者等 SOS ネットワークについての周知を行い、徘徊の恐れのある高齢者の事前登録を推進した。

○認知症初期集中支援推進事業

・認知症による症状があり、家族が困っているケースについて、認知症初期集中支援チームによる早期対応を行った。

受付件数：2 件

訪問回数：22 回

チーム員会議回数：４回

○認知症地域支援・ケア向上推進事業

・認知症カフェの企画、運営の支援を行った。

認知症カフェ「茶ま」

毎月第1・3水曜日開催

えきなかカフェ（認知症カフェ）

毎月第2・4木曜日開催

・認知症ケアパスを作成し、認知症の相談などに活用した。

≪介護予防支援事業≫

〇介護給付による介護予防支援

要支援者に対する介護予防支援を行った。また、その業務の一部を居宅介護支援事業所に委託した。

年　度	延べ件数	うち委託件数
H30 年度	1,085 件	410 件
R 1 年度	1,187 件（+102 件）	440 件（+30 件）

〇総合事業による介護予防ケアマネジメント

要支援者、チエックリストに該当し生活機能の低下が認められた人に介護予防ケアマネジメントを行った。また、その業務の一部を居宅介護支援事業所に委託した。

年　度	延べ件数	うち委託件数
H30 年度	592 件	182 件
R 1 年度	701 件（+109 件）	265 件（+83 件）

≪一般介護予防事業≫

全ての高齢者を対象に、介護になる前の段階から予防を行い、日常生活動作の向上や社会活動への参加、生きがい作りを目的に実施。

①介護予防教室の開催

〇筋力トレーニング（ぞくぞくトレーニング）

マシンを使い一年を通して週4日、7教室開催

永平寺保健センター（4月～5月）※6月～9月は開発センターで代替教室（週2回）

年　度	回　数	延べ人数
H30 年度	333 回	2,378 人
R 1 年度	190 回（-143 回）	1,253 人（-1,125 人）

※保健センター空調故障あり

〇筋力トレーニング（ぞくぞく代替え教室）

夏季（6月～9月）のみ限定　永平寺消防ホール3階、（火・木）全31回

年　度	参加者数
R 1 年度	433 人

※永平寺保健センター内冷房設備の都合。

○筋力トレーニング（もりもりトレーニング）

松岡保健センター

年1回参加者を募りマシンを使った教室開催

年　度	参加者数
H30 年度	0 人
R 1 年度	5 人

○筋トレ教室

年間を通して筋力アップに繋がる運動教室を開催。(4 会場)

永平寺保健センター(6 月から開発センターへ場所変更)

年　度	回　数	実人数	延べ人数
H30 年度	40 回	39 人	866 人
R 1 年度	36 回	48 人	922 人（＋56 人）

上志比保健センター

年　度	回　数	実人数	延べ人数
H30 年度	42 回	29 人	695 人
R 1 年度	41 回	24 人	708 人（＋13 人）

ふるさと学習館

年　度	回　数	実人数	延べ人数
H30 年度	42 回	18 人	498 人
R 1 年度	41 回	20 人	605 人（＋107 人）

永平寺老人福祉センター

年　度	回　数	実人数	延べ人数
H30 年度	44 回	26 人	482 人
R 1 年度	42 回	30 人	547 人（＋65 人）

○こつこつ教室（翠荘・ざおう荘）

音楽・レクリエーションを取り入れた健康体操教室を1年通して開催

年　度	会　場	回数	実数	延べ人数
H30 年度	翠荘	43 回	55 人	1,524 人
R 1 年度	翠荘	34 回	43 人	1,175 人（-349 人）

H30 年度	ざおう荘	49 回	11 人	424 人
R 1 年度	ざおう荘	39 回	13 人	408 人（-16 人）

○いきいき百歳体操（地域の自主活動の支援）

手足に錘をつけた筋力トレーニング

年　度	実施個所数
H30 年度	17 か所
R 1 年度	20 か所（+3）

本年度は老人福祉センター永寿苑、竹原地区、市右エ門島地区の３か所で新たに開催。
住民主体の活動として継続性のあるものにするため、3ヶ月毎にリハビリ専門職による評価を実施すると共に、年1回の体力測定により効果が実感できるよう支援した。

〇地域介護予防活動支援

予防事業に関するボランティア等の人材を育成するための研修会と活躍の場チェックを開催

日　時	内　　容	参加者	サポーター
6/14（金）	フレイル予防サポーターステップアップ研修		16人
6/21（金）	永平寺保健センターフレイルチェック2回目	5人	10人
6/27（木）	松岡保健センターフレイルチェック2回目	9人	7人
7/12（金）	牧福島集落生活改善センターフレイルチェック1回目	15人	9人
7/23（火）	老人福祉センター永寿苑フレイルチェック1回目	16人	8人

〇介護予防教室

『生活・身体・気になるテーマで開催』

7月31日（水）　テーマ：脳と体を活性化させよう（老人福祉センター永寿苑）

参加者 28名

〇地域サロン等への出前講座の開催

介護予防に関する活動の普及･啓発や活動育成･支援

開催日	団体名	内　　容
5.15	おしゃべりサロン(神明2丁目)	介護保険について・認知症について
5.22	永平寺町身体障害者福祉協会	健康寿命をのばそう
8. 4	牧福島サロン	支え合いのまちづくりについて
9.9	諏訪サロン(領家)	いきいき百歳体操の紹介と説明
9.26	市右エ門島和やかサロン	高齢者の介護予防と健康管理
11.21	石上いきいきサロン	介護予防について
12.17	栃原ふれあいサロン	認知症について
2.21	吉波粋生サロン	暮らしと健康（体操）
2.27	湯谷ゆめサロン	介護予防の話と簡単な体操

〇永平寺町介護予防教室データ分析（2017～2020年）

ぞくぞく教室、筋トレ教室、いきいき百歳体操参加者の体力測定と主観的健康観のデータについて、福井大学医学部医学科運動・スポーツ医学准教授に分析を依頼した。男性では歩行速度、女性では握力に改善が認められ、また、高齢者において健康度を測る一つの項目である体重の減少は認められないという結果を得た。健康観については、7割以上が現状維持を達成しており、教室に参加する効果を少し目に見えるものにできた。しかし、一番効果が表れる内容で開催しているぞくぞく教室についても、一定期間前後での効果が明確に表れなかった。今後介護予防教室の効果を検証していくため、新規参加者のデータ蓄積や評価項目についてのアドバイスをもとに、今後の介護予防教室を運営していく。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2.2/28 より全ての介護予防教室の開催中止及び、いきいき百歳体操の開催自粛を行った。外出頻度の減少、活動性の低下が予測されるため、以下の対策を講じた。

①ケーブルテレビによるいきいき百歳体操の放映(3/25～ 2 回/日)

②活動チエックシートを全戸配布し、活動低下防止のための働きかけを行った。

《その他》

〇地域包括支援センターの業務を円滑に進めるための他部門との連携

・福祉保健課との連絡会

定例で開催（毎月１日）

・在宅介護支援センターとの連絡会

定例で開催（毎月最終水曜日）

・地域福祉推進課との連絡会

定例で開催（毎月第２水曜日）

〇職員の資質向上

研修会、研究協議会、ファシリテーターなどに参加した。

〇福祉、医療人材育成への協力

福井大学(医学部)、福井県立大学(看護福祉学部)、福井高校専攻科、研修医の実習受け入れを行い、後進育成への協力に取り組んだ。

◎実施予定で準備を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

日　時	内　　容
R2.2/28～	筋トレ教室 4 会場とも開催中止
R2.2/28～	こつこつ教室 2 会場とも開催中止
R2.2/28～	筋力トレーニングぞくぞく教室 7 教室とも開催中止
R2.2/28～	いきいき百歳体操リハビリ専門職派遣中止
R2.3. 3（火）	フレイル予防サポーターステップアップ研修
R2.3. 8（日）	上合月地区出前講座（認知症について）
R2.3.10（火）	介護予防教室「頭と脳を活性化させよう！」上志比地区
R2.3.11（水）	牧福島集落生活改善センターフレイルチェック２回目
〃	自立支援ケア会議
R2.3.12（木）	多職種連携研修会「認知機能が低下した高齢者の意思決定を支える」
R2.3.15（日）	山鹿地区出前講座（認知症予防について）
R2.3.16（月）	いきいき百歳体操交流会
R2.3.17（火）	介護予防教室「頭と脳を活性化させよう！」松岡地区
R2.3.19（木）	老人福祉センター永寿苑フレイルチェック２回目

R2.3.23（月）	上志比地区ひまわりサポートの会先進地視察（若狭町）
R2.3.24（火）	入退院支援ルールに関する圏域代表者会議への出席

29　在宅介護支援センター

〇高齢者の安否確認、実態把握及び相談対応

・安否確認　1467　件　　（前年度比；　-75 件）

・実態把握　　402　件　　（前年度比；　-43 件）

・相談対応　　374　件　　（前年度比；-306 件）

〇365 日 24 時間体制（夜間携帯対応）で町民からの相談を受けて集約し、地域包括支援センターのブランチとして、地域包括支援センターにつないだ。

〇地域包括支援センターが行う高齢者の実態調査や初期の相談対応業務を協力・連携して行った。

〇困難ケースなどについては、民生委員との連携を図り支援を行い、関係機関やサービスにつなげた。